



創立平成22年9月16日

2016年6月16日発行

平成27年度(2015年度) 会長・山本英次 幹事・大島芳幸
平成28年5月19日 第65回 例会の記録等 クラブ第6年度第11号

理事会

日時：平成28年5月12(木) 10:00~11:25
場所：高幡不動客殿2階控室 出席8名 欠席2名
(五周年会計報告で中村、須山両会員が冒頭に出席)

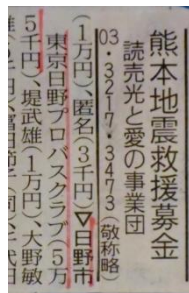
第65回例会 (第6年度第10回)

日時：平成28年5月19日(木) 12:30~14:30
会場：高幡不動 宝輪閣地下1階 司会：黒澤直明
出席：33名中27名(出席率81.8%) 欠席：6名
配布資料 4部(例会次第、会報67号、下期スケジュール表、次年度役員と会員の所属委員会案)。

会長挨拶

山本英次会長

客殿2階例会場は句会の使用があり、今日はここ宝輪閣にての例会開催です。先月の例会での募金とクラブのきずな基金よりの拠出で熊本に義捐金を送りました。読売新聞に載っております。(写真)ご協力、ありがとうございました。来月は定期総会も開かれ、7月からは新体制での新年度となります。残り1ヶ月ですが、引き継ぎを含めきちんとした活動をしたいと思います。理事のみなさまには格別のご協力をお願いします。



にこにこワンコイン H28年5月

5月は9名で5千円 (発表順に掲載)
宮地公平：孫が一人増えました、ダブルコインで。
小西弘純：暑いのが苦手な私です。これからの夏は毎年のことですが、2ヶ月間が大変です。
市川資忠：なんとなく？
久保正男：ポケ防止で始めた将棋で念願の初段に合格し、認定証の到着を待っているところです。
後藤一郎：なんとなく。
疋田久武：山本会長さん、大島幹事さん、1年間大

変お世話になり有難うございました。6月の最終例会を欠席しますので、本日で失礼します。

後藤紀之：とうとう古稀まで長生きしてしまいました。若かった時代には、想像も出来ません。

土方尚功：5月2日、春の叙勲で旭日双光章を都庁で知事より頂き、13日は宮中で天皇よりお言葉を頂戴しました。一生に一度の事と心に強く残すとともに、今後も地域の為に頑張っていく予定です。

山本英次：写真同好会の年一回のイベント『東京都1000人展』に有志の皆さまに参加頂き感謝申し上げます。新宿ヒルトンホテルにて6月23日より開催されます。皆さま、どうぞご覧になって下さい。

幹事報告

大島芳幸幹事

- ①新入会員歓迎会を5月8日豊田「星の家」で開催、21名が参加し和やかな懇親会となりました。



- ②土方さんが叙勲されました。お祝い申し上げます。

後藤一郎全日本プロバス協議会理事の報告

11月の全国総会(北九州市)に先立ち、9月5日に八王子京王プラザホテルで東日本ブロック交流会が開かれる。新潟から北海道迄28クラブが対象で、ホストは八王子、コホストが日野と埼玉の浮き城。会費7千円。日野PCより10名程度の参加を期待します。

委員会報告

- 例会委員会 小島康義委員長
例会終了後、次年度の委員会毎にお集まり下さい。
- 情報委員会 矢野凱弓委員長
会報66号を本日発行。例会は今日が第65回で、この記録は6月発行の67号に載ります。数字が2つ違っています。HPにも既にアップロードしました。

○会員委員会

澤田研二委員長

3ヶ月連続の新入会員入会がありました。4連続は残念ながら、なりませんでした。

○研修委員会

林良健委員長

本日は日野市立病院副院長による研修講座です。3年前にヘルニア手術で執刀して頂いたのがご縁で、本日の専門講義に繋がりました。ご期待下さい。

○地域奉仕委員会

土方尚功委員長

先週末に新選組まつりが盛大に行われ、プロバスも種々協力しました。

次は7月31日のよさこい祭です。委員枠の2つへ、自薦される方をお待ちしています。

写真提供：山本会長



同好会報告

○ゴルフ同好会

矢野凱弓会長

明日20日は多摩3プロバスのゴルフで、日野より8名参加です。6月24日には第9回のクラブコンパが開催されます。新しく優勝杯も用意されました。



相武CCでの春の3PCコンペ(5/20)には17名が参戦。優勝(写真)黒澤氏、2位田口氏、3位久保氏と日野が上位独占。田村氏は5位、小林氏はニアピンを二つと好成績。難しい11番で多摩の北村氏がホールインワンの快挙。(記事と写真：渡辺ゴルフ幹事)

○PP同好会

小西弘純会長

8月は一杯飲む会を企画します。昨年は高尾山へ遠征し盛会でしたが、今年は近場を考えています。

○写真真同好会

山本英次会長

東京都千人展に小西、宮地、矢野、山本の4氏が出展します。ご覧になって下さい。新宿ヒルトンです。

研修講座 『がん』 「手術から遺伝子との闘いへ」

講師：日野市立病院副院長 菊永裕行先生

市立病院に26年勤務する外科医だが、30年間癌と闘っている。手術による治療から、遺伝子(DNA)との闘いであるとの思いを強くしている。癌は江戸時代に既に知られ、岩(がん)と呼ばれた上皮悪性腫瘍であり、5年生存率、10年生存率、治癒率等は、50年前とさほど変わらない。医療は進化しているが、



癌も進化している。生命体とは「自己増殖するもの」が定義です。宇宙の歴史が38億年、地球は46億年、生命の誕生は40億年前と考えられている。原始の海の中で6億年にも及ぶ様々な化学反応と突然変異という偶然の積み重ねで、DNAが出来上がったのだ。小さな小さな細胞一つ一つにDNAが在る。細胞が増殖する度にDNAを複製してゆくが、1日数千万回もコピーする際に5千個程度のミスが発生する。その複製ミスされたDNAは殆ど全部が自身の免疫系により撲滅されるが、中に極く少数、ミス(変異)したまま残ってしまう困りものがある。これが10年程もかけて癌を発病する素となる。癌細胞は賢くて超能力の持ち主だ。環境に合わせて自分を形質変換して生き残る。人間の正常なDNAはその末端部分「テロメア」が複製されるたびに短くなる仕組みを持つ。短くなると細胞の「老化」が進み、これが細胞の寿命となる。つまり古くなったDNAはコピーされなくなり死ぬ。正常細胞にはそれ自体に寿命が書き込まれているのだ。ところが癌細胞にはこの仕組みがない。つまり「不老不死」なのだ。更に癌細胞は酸欠状態でも生きられる特性を持つ。小保方さんのスタッフ細胞、幹細胞、ピロリ菌、タバコ等の発癌物質、放射線治療、広範な話題と多様な専門用語(特に多様なタンパク質の名前)について行くのが大変だが、とにかく中身の濃い65分の講座であった。医療の目的は治療に加え心のケアという言葉が印象的だった。

5月の誕生日スピーチ 2名

○後藤紀之(70) 古稀ですがプロバスでは未だ青年隊です。5月12日生れに織田信長、ナイチンゲールが居ます。両親の年を越えました。

○須山裕子(69) 誕生日には皆さん何を貰っているでしょうか？私は結婚以来45年間バラの花を貰っています。嬉しいです。60代最後の年です。



○閉会の辞

小島馨副会長

突然の会場変更でしたが、スムーズに対応できました。例会委員を始め皆さまのご協力に感謝します。

編集発行：情報委員会

矢野凱弓、小西弘純、小林昭治、曹一男、田口賀夫、
疋田久武 HP：<http://hinopc2010916.jimdo.com/>

検索には「Jimdo 日野プロバス」をクリック